

「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果

学校と経営者の交流活動推進委員会(杉江 和男 委員長)

調査期間：2012年9月15日~10月19日

(11月28日発表)

対象：経済同友会 会員所属企業 818社

回答率：255社(回答率31.2%)

新卒採用の選考の際は面接で、熱意、行動力、チームワーク力を重視

「企業がどのような人材を求め、どのような基準で採用を行っているか」など、企業の採用実態の変化を把握するための定点調査結果を2012年11月28日に発表した(過去6回実施；前回2010年)。

直近1年間に新卒者を「採用した」企業は全体で89.4%、「採用活動を行っていない」企業は7.8%となった。直近1年間に新卒採用を行った企業のうち、「大学学部卒業/大学院修士課程修了者」を採用している企業は94.8%を占めるが、他の学歴の新卒者を採用した企業は少ない(図1)。

新卒採用の選考では、「面接」が圧倒的に重視されている

■調査結果の詳細は、<http://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2012/121128a.html> をご覧ください。

が、「学校での成績」や「出身校」を重視する企業はほとんどなく(図2)、採用の際にはビジネスの基本能力や経験、資質等として、「熱意・意欲」「行動力・実行力」「チームワーク力」が重視されている(図3)。これらは新卒者の最終学歴にかかわらず共通しており、前回の2010年調査でも同様の結果が得られた。

女性や留学生などの区分で直近1年間の採用状況について見たところ、女性新卒者を採用した企業は91.8%を占め、日本人留学生(33.6%)よりも外国人留学生(45.7%)を採用した企業の割合が多い(図4)。

また、企業として教育に協力・貢献している取り組みとしては、「出前授業/教室/講座への社員派遣」(66.8%)、「講演会/セミナー」(64.8%)を挙げる企業が特に多かった。

図1 直近1年間の新卒者の採用の有無(最終学歴区別)

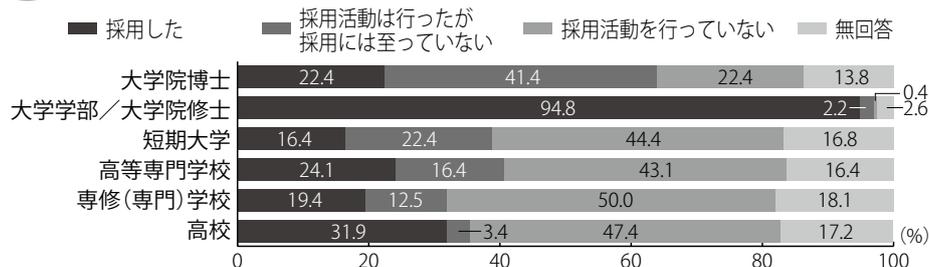


図2 新卒採用の選考で特に重視するもの(上位3つまで)

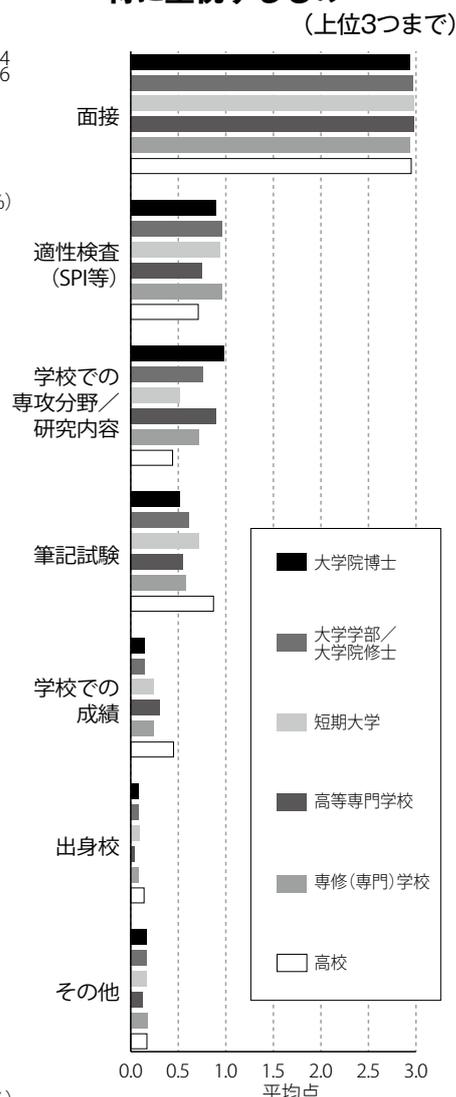


図3 新卒採用の際、ビジネスの基本能力や経験、資質等で特に重視するもの(上位5つまで)

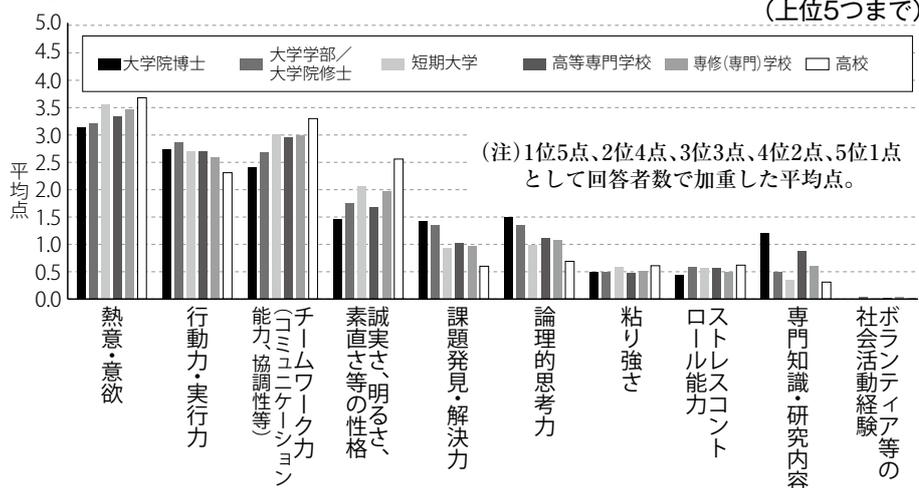
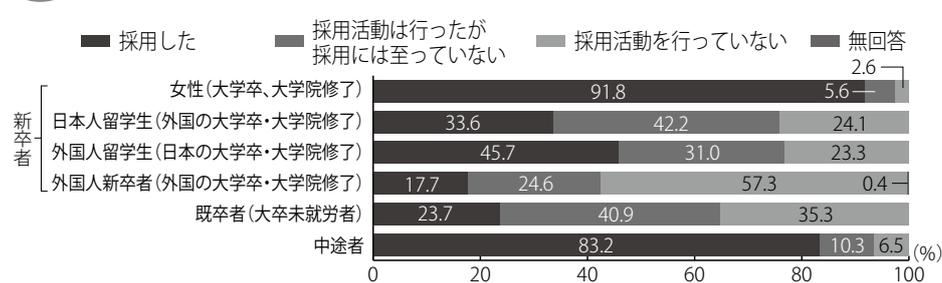


図4 直近1年間の採用の有無(被採用者別)



(注)1位3点、2位2点、3位1点として回答者数で加重した平均点。